

平成30年度 まちの主な事業成果

関係人口拡大によるまちづくり

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域と多様かつ継続的に関わる人々のことを指します。地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面しています。地域によっては「関係人口」と呼ばれる人材が、その担い手の一翼を担い、好循環を生み出しています。

定住人口の減少は避けられない部分もありますが、日本中、世界中に津別町のファンが増えていけば、必ずこの困難を乗り越えていけるはずで。



▶左官作業を行う子どもたち



▶移住体験で訪れた参加者たち

《津別町空家バンクの利用状況》
※2019年12月末現在

・登録物件数

建 物	貸したい	4件
	売りたい	13件
土 地	貸したい	0件
	売りたい	12件

・物件を探している登録者数

建 物	借りたい	17名
	買いたい	20名
土 地	借りたい	0名
	買いたい	1名

登録物件の詳細は下記ホームページをご覧ください。
<https://www.tsubetsu-estate.com/>

【問い合わせ先】
北海道つべつまちづくり株式会社
移住・定住サポートデスク ☎77-6081

空き家再生プロジェクト第2弾ラストスパート

地域のヒトと訪れるヒトをつなげ津別のファンを増やしていくことを目指した宿泊施設「地域融合型ゲストハウスnanmonanmo（なんもなんも）」の町民参加型のリノベーション（古い建物の良さを生かしながら、様々な改修を施し、その建物に新たな価値を生み出していく取り組み）が、年度内のオープンを目指してラストスパートを迎えています。

8月からスタートし、これまで、13回のワークショップを開催し、延べ約350名が参加しています。

町内の子どもたちが当日担当の講師に教わりながら左官に挑戦したり、津別町への移住を検討している方が参加し町民と交流をしたりと、オープン前から地域のヒトと訪れるヒトの繋がる場として賑わいを見せております。

現在、運営者の河本純吾さんは、資金調達やホームペーの制作、予約受付サイトの選定といった津別のファン作りを行うための広報活動などの開業に向けた準備を進めています。

今後2月1日〜2日、2月15日〜16日でワークショップを開催する予定ですので、「DIYが好き」「どんな部屋なの？」など、興味がある方は気軽にご参加ください。

津別町市街地総合再生基本計画策定に向け議論を進めています

先月号で設置の案内をいたしました「津別町市街地総合再生基本計画策定委員会」が、複合庁舎建設等まちなか再生基本計画に定めるコミュニティゾーンの整備に向けた計画を策定するため、調査や検討等を進めています。

12月11日に開催された第2回会議では、先進事例や計画の重点地区設定、今後のスケジュールについて確認を行いました。1月28日の第3回会議では、計画案の審議、コミュニティゾーン（複合商業施設等）整備事業者選定プロジェクトの募集要項や条件に

複合庁舎建設等まちなか再生基本計画はこちら
https://www.town.tsubetsu-hokkaib.jp/20machizukuri/sousei/files/matinakasaisei_saisyuu.pdf

QRコードが読み込める機器をご使用の際は、ここからアクセスしてください。

お問い合わせ先
住民企画課地方創生係
☎76-2151（内線241）
e-mail: tsubetsu.sousei@gmail.com

障害者総合支援事業 2億2,991万円

平成30年度開始の「第5期津別町障がい福祉計画及び障がい児福祉計画」に基づき、社会福祉法人や関係団体との情報連携を進め、障がい者福祉の充実強化に努めました。

地域振興施設管理業務 1億1,247万円

道の駅あいおいで販売する、大人気ご当地スイーツ「クマヤキ」を製造販売する専用施設「クマヤキハウス」の建設と、それに伴う駐車場整備を行いました。道の駅の新しいシンボルとして、親しまれています。



クマヤキハウスオープン式典

まちなか再生とまちの賑わい創出事業 5,737万円

今年度設立された「北海道つべつまちづくり株式会社」の設立準備や、出資などを行いました。同社は現在、町の魅力的な人や自然の価値を最大限に引き出して、より一層、子供や孫の代まで誇れる故郷として津別町を発展させることを理念に、活動を進めています。

庁舎等建設事業 4,488万円

新庁舎の建設に伴う「津別町役場庁舎等建設事業基本設計業務」の委託や、「公用車車庫等建設工事実施設計」の委託を行いました。



役場新庁舎イメージ図

第6次津別町総合計画策定に向けた準備 892万円

今年4月からスタートする第6次津別町総合計画の策定に向け、住民アンケートの実施、審議会・策定委員会の設置、計画案の作成を行いました。

木材工芸館整備事業 1億5,759万円

大型遊具、津別の産業や歴史を紹介する展示パネルの設置など、より「愛林のまち」を象徴する施設にリニューアル。愛称を「キノス」としました。



ネイチャーセンター整備事業 7,513万円

町民の森自然公園(上里)に、ネイチャーセンターを建設しました。道内唯一の森林セラピーの拠点として、また自然の保全・観光拠点として機能しています。



一般廃棄物最終処分場施設整備事業 3,246万円

現在の一般廃棄物最終処分場とリサイクルセンターの敷地内に、新しい最終処分場を建設するための設計業務を委託しました。新しい処分場の供用開始は、令和3年4月からの予定です。

第4回全国木のまちサミット2018 in つべつ 236万円

木材利用に取り組む全国の自治体等が一堂に会し、木材利用の促進と国産材自給率の向上加速化を目的に、「全国木のまちサミット」が、津別町を会場に開催されました。

